

【研究ノート】

小学校体育科保健領域における 「喫煙，飲酒，薬物乱用と健康」の学習過程に関する研究

糠谷 康弘*1・伊藤 雅広*2・近藤 智靖*2

*1 日本体育大学大学院教育学研究科博士前期課程

*2 日本体育大学

本研究の目的は、小学校6年生の保健領域「喫煙，飲酒，薬物乱用と健康」を対象として、子どもの保健授業への愛好的態度を高めるとともに知識の定着を企図した学習過程を検討し、その効果を検証することである。

本実践は、静岡県内7小学校8学級6年生計122名を対象に、3時間構成の同じ学習課程から成る授業をそれぞれ行った。効果を検証するために2種類の質問紙調査（学習過程評価票と保健学習に対する質問紙調査）とワークシートの自由記述を用いて、データの収集及び分析を行った。

研究の結果、以下のようなことが明らかになった。

- 1) 毎時間後の質問紙調査の結果、認識の項目が3時間とも最も高い結果であった。
- 2) 単元前後の質問紙調査の結果、感情面や期待面においても大きな成果がみられた。
- 3) 毎時間後のワークシートの自由記述の分析から、子どもの決意や態度と学習面を踏まえた記述が見られており、知識の定着につながった。

以上のような結果から、本研究で試みた学習過程の工夫は、一定の成果が得られた。

キーワード：保健領域，喫煙，飲酒，薬物乱用

**The study of learning process of “Smoking, Drinking,
Drug abuse and Health” in the field of elementary school health and physical education**

Yasuhiro NUKAYA^{*1} · Masahiro ITO^{*2} · Tomoyasu KONDOH^{*2}

*1 Nippon Sport Science University Graduate School

*2 Nippon Sport Science University

The purpose of this study is to raise the favorable attitudes to the health and physical education class, and to verify the retention of their knowledge they acquired through the classes. In this paper we conducted a study targeting at primary schoolchildren, 123 people of 6th graders, through 3 classes, each 45 minutes, about a learning process of Smoking, Drinking Drug abuse and Health”

In this study we inspected all data from worksheets the students used at the lessons and two questionnaire surveys conducted on the students, in which they were inquired about the evaluation for learning process and health and physical education.

As a result, following three points became clear.

- 1) The surveys conducted after each lesson, the item for “recognition” shows the highest.
- 2) The surveys which were conducted before and after the unit of the lessons result in more positive impact in the aspect of students’ emotion and expectations for learning, which contributes to obtain knowledge.
- 3) The analysis of the worksheet shows the student’s determination to learn and that there are some descriptions of what they learned through the lessons.

Hence this study has achieved certain results.

Key Words: health education, smoking, drinking, drug abuse

1. 研究の背景

保健学習に関する小学校5年生の全国調査結果(野津ほか, 2007)(注1)では、「保健学習が健康な生活を送るために大切だ」と捉えている子どもが8割程度と多く、保健学習の価値を実感していたり、日常生活への活用が重要であると考えていたりすることがわかっている。しかし、保健学習が「好きだ、おもしろい、楽しい」といった保健学習への愛好的態度の面では、肯定的な回答が5割程度に留まっており、子どもたちは、保健学習の価値は実感しつつも、情意面での課題を抱えていることがわかる。そのため、保健学習に対して肯定的に感じることができる授業づくりや指導の工夫が必要である。

ところで、保健授業に関する先行研究として、阿河(2005)、川村ほか(2015)、赤田(2011)、植田(1998)をあげることができる。

阿河(2005)は、限られた授業時間の中で効率的な保健授業を試みた。授業は、講義形式とし、その際に、ビデオ教材、展示用教材、学習ワーク用教材などの身近にある資源を積極的に活用した。そして、授業者間に身近にある有効資源を教材として積極的に活用することに対して大きな隔りがあるように感じると指摘している。

川村ほか(2015)は、保健授業において伝える側が一方的に話すのではなく、子どもへの問いかけやロールプレイを一緒に行うなど、子どもと一緒に進めていくことや、子どもが視覚的にわかりやすい写真や例をあげることが大切であると指摘している。また、赤田(2011)は、教具の開発に力を入れており、たとえば、喫煙防止に関する教材・教具に関わり、カードゲームや視聴覚教材(動画)の開発を行っており、疑似ターレットと称して食用のヨーグルトに墨汁を混ぜたものを使用し、具体物を示しながら授業を進めている。この阿河(2005)、川村ほか(2015)と赤田(2011)の研究からは、保健授業を実施する際に、教師主導で教科書の内容を辿っていくことではなく、発問を通じて子どもに考えさせることや、視覚的に理解をしやすいように、教師が教材・教具を工夫

していくことの示唆を得ることができる。

一方で、保健の授業研究を実施する際の検証方法として、植田(1998)は、授業評価が不可欠であるとしている。特に教授—学習過程の評価が重要であるとして、小学生が1時間の保健授業をどのように評価するのかを知る必要があるという考えから、保健授業の教授—学習過程評価票を開発している。

しかし、川村ほか(2015)と赤田(2011)の研究では、いずれも大学生が授業の計画及び指導に直接関与しており、授業の準備物も多いことから、学校現場で繰り返し授業を継続していくことが難しく再現性に課題があるといえる。また、植田(1998)は、1990年代後半に評価票を発表しているものの、実際の学校現場の保健授業を検証する際に、こうした評価票を用いるよりも、教師による主観的な評価に留まっているのが現状である。

以上から、子どもたちの保健授業への愛好的態度を高めていくためには、学習過程に関する研究を行う必要性がうかがえる。その際、教師による発問や視聴覚教材等を用いながら、子どもの保健授業への愛好的態度を高め、知識の定着を図ることが重要であり、また、その授業の成果を客観的データによって示していく必要があるとも考えられる。なお、こうした研究をしていくことで、複数の教師による再現性を担保していくことも重要な視点であろう。

2. 研究の目的

以上より、本研究の目的は、小学校6年生の保健領域「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」を対象として、子どもの保健授業への愛好的態度を高めるとともに知識の定着を企図した学習過程を検討し、その効果を検証することとした。

3. 研究の方法

3.1 期間及び対象

本実践は、2020年10月から12月にかけて、静岡県内7小学校8学級の6年生計126名を対象に、3時間構成の同じ学習過程から成る授業を

それぞれ行った。なお、分析は3回の授業で1回でも欠席のあった4名を除き、122名を対象とした。

各小学校の授業は、担任教師が行った。ただし、D小学校のみ小中併設校のため、日頃から体育科の授業を行っている中学校保健体育科の教師が授業を行った。

3.2 学習過程の工夫

本研究では小学校6年生の「病気の予防」の単元の中で、「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」をテーマに「喫煙」「飲酒」「薬物乱用」を各1時間ずつ計3時間から成る学習過程を作成し、実施した。作成に関して、阿河(2005)、川村ほか(2015)と赤田(2011)の先行研究の知見を活かし、双方向性や視聴覚教材を重視している。また、小学校学習指導要領の高学年の指導内容の中に「地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること」といった内容が示されており、学校で学んだことと地域社会の取り組みとを結び付けていくかが高学年でも大切にされている。さらに、コロナ禍における授業の在り方として、対話的な学びをどのように実現していくかが重要な課題であると考えられる。以上より、本実践の学習過程は以下の4点を重視して作成することとした。

①教師と子どもの双方向性

教師による一方的な説明中心の授業ではなく、教師と子どもの間での発問(主発問と補助発問)と応答を繰り返しながら、教師と子どもとの間のやりとりを頻繁にしていく授業とした。

②視聴覚教材

先行研究には、赤田(2011)の科学的で印象的な映像、阿河(2005)のビデオ教材やパネルや図表などたくさん使って児童の視覚に訴えることの大切さという考えが示されている。そこで、本研究では、写真・図・DVDといった視聴覚教材を用いて、子どもの関心を引きつつ、同時に知識の定着を意図した。

具体的には、正常な臓器と病的な臓器の写真を並べて提示し、子どもたちに比較をさせて、どん

なところが違うかを発問によって引き出したり、病的な臓器になってしまうとどんなことが起こってしまうか、具体的な症状を挙げたりしていった。

また、写真や図に示されている情報を適切に読み取る力も求めている。さらに、DVDでは、写真や文字情報だけでなく、映像資料(動画と音声)を用いることが、知識の定着には有益であると考え、毎授業で用いることとした。また、こうした視聴覚教材を授業の中核に据えることで、多くの教師にとって授業の再現性が比較的容易となるであろうことも意図した。

なお、本研究で使用した視聴覚教材は以下に示す。

・DVD「健康な未来を決めるのは、あなた」

(東京都福祉保健局, 2017)

概要

小学6年生、美咲、兄の中学2年生の健司が友だちとの日常生活や部活動を通じて「未成年者が、たばこを吸うことによる健康への影響」や「たばこを断る勇気をもつ大切さ」を学んでいくアニメーション。未成年者の喫煙防止教育の一環として作成された。

・DVD「教えて！カワウソ博士お酒はどうしていけないの？」(サントリー, 2017)

概要

未成年者に飲酒が健康にあたる影響を解説し未成年者の飲酒を防止する意図で制作した教材映像。カワウソ博士と一緒に、わかりやすく、楽しく学べる内容。「法律で禁止」編、「体に悪い5つのこと」編、「キッパリ断ろう！」編、「お酒のウソ・ホント クイズ」編からなる。

・DVD「STOP薬物乱用 勇者・ストップ」

(東京都福祉保健局, 2020)

概要

小中学生が飽きない、興味をひくように実写とアニメを融合した”ゲーム”の世界で進行していく。オリジナルキャラクター「勇者・ストップ」を用い、クイズ形式により子どもに考えさせる内容となっている。

③社会との繋がり

学校での学習と社会の結びつきを意識できるようにポスターを用いた。これにより授業の中で学習したこと（しようとする事）が、一般社会における予防活動、具体的には啓発活動や防止活動と繋がっていることが子どもの中で理解できるようにしている。たとえば、警視庁や文部科学省が作成したポスターを身近なところで見ることがないか、この学校に貼ってある場所はないかなど、普段の生活や学校生活との結びつきを意識しながら、授業中に提示した。

④子ども同士の対話的な学習

コロナ禍で展開される単元のため、感染防止をしながら、同時に子ども間の対話的な学びの保障をすべく、子ども同士の教え合いをする際には、机や席を移動して密になるような形式を採用する事ができないという事情があった。したがって本実践では、近くの席の1~2名のみ子どもと飛沫が飛ばないように大きな声を出さずに意見を交流し、まとめていくようにした。こうしたわずかなことでも、子ども間の対話的な学びの保障が成立していたと考える。

ちなみに、教師からは以下のような発問を子どもに提示し、教師や近くの子どものやりとりを進めていた。

【喫煙と健康】喫煙の開始年齢と病気の関係について教科書のグラフを見て、何がわかるか近くの人と相談してみよう。

【飲酒と健康】お酒を飲むとすぐに体にあらわれる影響は何だろう。近くの人と話し合ってみよう。

【薬物乱用と健康】なぜ薬物乱用をする人がいると思いますか。近くの人と話し合ってみよう。

また、各授業時間に共通する学習過程としては、いずれの授業も概ね下記の学習過程をたどるようにした。

- ① ポスターやデータを基にした導入における発問の時間
- ② 学習カードに子ども自身の意見や考えを記入する時間
- ③ 体への害や変化と関連知識の確認する時間
- ④ 子どもが図や写真を見て、思考し、気付いたこ

とを話し合う時間

- ⑤ 子どもの考えを共有する時間
- ⑥ DVD教材を用いて知識の確認をする時間
- ⑦ まとめと振り返りの時間

この学習過程は、導入時の教師からの発問によって、子どもが考えたことや気付いたことを予想し、その予想を踏まえて、専門用語や体の変化・害を学び、さらに、子ども同士が図表を基に考えたことや気付いたことを話し合い、学級で共有し、知識の定着を図る、という「問題の確認→予想→知識の学習→思考・対話→知識のまとめ」の流れをたどっている。図表、写真、DVDなどの視聴覚教材は、①③④⑥の場面で用いた。無論、一部内容によっては、ポスターを見せる時間がまとめの段階となる場合もあり、細かな差異はあるものの概ね上記のような学習過程となるようにした。

なお、授業の指導案は資料1から3に示す。

3.3 データの収集方法及び分析方法

本研究では、2種類の質問紙調査とワークシートの自由記述を分析した。

①学習過程評価票（植田，1998）（資料8）

この質問紙を毎授業後に実施し、授業の成果を検討した。この質問紙調査は、授業直後に子どもたちによる形成的授業評価を行うものであり、協力的学習が4項目、認識が4項目、興味・関心・意欲が4項目、自己学習が4項目の計16項目で構成されている。

加えて、本研究における「3.2 学習過程の工夫」でも示した視聴覚教材に関する項目を3つ追加し、計19項目で構成したものを用いた。なお、回答は先行研究に倣い「はい」「どちらでもない」「いいえ」の3件法を採用した。なお、各授業における子どもの学びの様子をさらに明確にするため、ワークシートの記述内容のうち、問3以外の内容についても、考察の際に適宜用いていくこととする。

②保健学習に対する質問紙調査（野津ほか，2007）（資料7）

この質問紙は、単元の事前・事後に実施した。質問紙は、感情3項目、価値・期待8項目の合計

11項目から構成されている。本研究では、単元前後で平均値の比較として対応のある t 検定を行い、授業成果を検討した。

③ワークシートの自由記述（資料4～6）

授業で使うワークシートにはいくつかの問いがある。その中の3問目には、子どもがどのような態度を持つに至ったか、そしてその理由が学習をしたことを踏まえているかについての項目が設定しており、その記述内容を得点化した。具体的には、以下のようにした。

- 4点 決意、態度、学習理由があり、具体的である
- 3点 決意、態度、学習理由があるが、抽象的である。
- 2点 決意または態度がある。
- 1点 決意、態度が身についていない。

この採点基準では態度と理由が具体的に記されていることを最高点とし、態度が身についていない状態を最も低い点としている。なお、基準とその具体例は表1に示す。

表1 ワークシートの採点基準 *筆者作成

4点 決意、態度、学習理由があり具体的である
・たばこは、たくさんの有害物質があって死亡率などが高くなってしまふのを知って怖いと思いました。私は、大人になっても絶対吸いたくないし、家族で吸っている人がいたら、その人のためにも他の人にも迷惑がかかるからやめさせようと思いました。
3点 決意、態度、学習理由があるが抽象的である
・大人になってもぼくは、お酒のみたくないです。理由は病院にもいきたくないし、長生きもしたくないからどうしてもものまないといけないときはことわったり、ふった麦茶でいいと思います。
2点 決意または態度がある
・自分はぜったいにつかわないしもし「つかってみな」と言われたら、しっかりことわって、その場からはなれるなどをするをわすれないようにしたいです。
1点 決意、態度が身についていない
・ちょっとすってみたい。1回だけです。アイコスにします。

なお、ワークシート、保健学習に対する質問紙調査(野津ほか, 2007), 学習過程評価票(植田, 1998)は資料4から8に示す。

3.4 本研究の倫理に関する手続き

本研究は、日本体育大学大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施され、授業の実践に関しては、事前に各小学校長の了承を得て行われた(研究倫理承認番号 第020-H063号)。

4. 結果と考察

4.1 授業直後質問紙調査の結果

授業後の質問紙調査の結果は表2の通りである。

2 学習過程評価の結果 (n=122) *筆者作成

	1時間目	2時間目	3時間目
協力的学習	10.21	9.96	9.71
認識	11.20	11.06	11.22
興味・関心・意欲	9.51	9.00	9.23
自己学習	9.47	9.24	9.52
本研究独自の3項目	7.94	7.61	7.93
総合(本研究独自除く)	40.39	39.25	39.68
総合(本研究独自含む)	48.34	46.86	47.16

質問紙の結果から、子どもたちが、「今日の勉強は大切で、これからの生活に役にたつ」「あっわかった」「ああそうか」「新しい発見やおどろきがあった」という「認識」の項目が3時間とも最も高い結果となった。

この数値から、写真、図、DVDといった視聴覚教材を豊富に用いて、子どもたちの関心を引きつつ、同時に知識の定着を図るようにしたため、「認識」の項目が高い数値を示したと推察できる。

具体的には、飲酒と健康の子どものワークシート(問3を除く)の自由記述の中に、DVDで見た「ぞうのいせき」に関する記述が多かった。DVDの「ぞうのいせき」を守るという説明は、アルコールによる体への悪影響について頭文字でつなげたものである。たとえば、次の通りである。

- ぞう 臓器に影響がでる
- の 脳の働きが弱くなる
- い アルコール依存症になりやすい

せ 成長に影響がでる
き 急性アルコール中毒になる可能性がある
このように頭文字をとって、子どもにわかるような説明をDVDでは展開している。

子どもたちのワークシートの記述には、この説明に関する記述が多く見られており、子どもたちにとって印象深いものであったと推察できる。

先行研究の植田(1998)のデータと比較すると、「協力的学習」の項目は、コロナ禍ではあったものの、非常に高い数値を示したことから、近くの人とのみ大きな声を出さずに意見を交流することも有効であることが明らかになった。このデータによれば、机を並べ替えてグループをつくる形式をとることのみが、対話的な活動ではないと言うことがわかる。本研究のように、一斉授業の形式であっても、教師と子どもとの間での発問と応答をくり返すことで、仲間の意見を聞いて一緒に考えることや、近くの人とのみ大きな声を出さずに意見を交流することを促し、そうした活動が、協力的学習の項目の高さに繋がったと推察される。

また、「認識」、「興味・関心・意欲」、「自己学習」の項目が、すべての授業において先行研究の結果(植田, 1998)よりも高かった理由は、喫煙、飲酒、薬物乱用で、子どもたちの学習意欲を高め、正しい知識が定着し、自分なりの意見を持つことができたからではないかと推察している。以下では、子どもたちのワークシートの記述の典型的な例をいくつか紹介する。

①喫煙と健康

「今日の授業で見た肺の映像がピンクではなく、黒になっていたからびっくりしました。将来は、たばこを絶対に吸いたくないです。」

「たばこはたくさんの有害物質があって死亡率などが高くなってしまふのを知って怖いと思いました。私は大人になっても絶対吸いたくないし、家族で吸っている人がいたらその人にも他の人にも迷惑がかかるからやめさせようと思いました。」

「喫煙すると、病気になるやすくなってしまうだけでなく、集中力や体力が低下してしまうことを知りました。吸っている人だけでなく、そのま

わりの人にも悪いえいきょうがあり、自分だけの害ではないから、まわりの人にめいわくにならないようにするためにも吸わないようにしたいと思いました。」

②飲酒と健康

「お酒を短時間で一気に飲むと急性アルコール中毒になって死につながることもあるということを知れました。私の親やおじいちゃんは、お酒に弱いので、私は大人になったら一気に飲まないで、たまに飲むようにして、量に気を付けたいです。」

「お酒を飲みすぎると、体に悪い影響があるし、死んでしまうこともあることを知ったので、気を付けたいと思います。正しい判断ができなくなったりすると、周りの人にも迷惑をかけてしまうことにもなるので、飲みすぎないようにすることが大切だと思いました。」

「お酒は、体にたくさんのえいきょうがあるということが分かったので、大人になったら飲んでみたいけど、ひんぱんに飲まないで、自分に合った量を飲んで健康にすごしたいです。大人になっても未成年にすすめないで、もし、子どもで飲酒したり、未成年にすすめている人がいたら、とめてあげたいです。」

③薬物乱用と健康

「薬物乱用は、自分の心・体をこわしてしまうだけでなく、周りの人にも迷惑がかってしまうことを知りました。誘われても強い心で断れるようにしたいと思いました。今までに知らなかった薬物の危険性が知れてよかったです。」

「薬物乱用をすると、いろいろや苦しみなどが何回もおこったり、幻や幻聴におそわれたりすると体もボロボロになってしまって、とても危険だから1回でも薬物乱用をしてはいけないと思います。私は、今までニュースなどをみても、よくわかっていなかったけど、今日どのくらい恐ろしいかがわかったので、人から誘われたりした時も気をつけようと思います。」

「薬物は、体へのえいきょう(害)が大きいから。乱用すると脳がこわれ、判断力、運動能力が低下、やる気が出ず、げんちょうがあつたり、あ

りもしないものがみえてしまう。1度使うとやめられず、やめたとしても『フラッシュバック』などのしょうじょうがある。これをふまえて私はぜったい乱用しないし、薬の危険さ（大麻などの危険な薬物の）をひろめたい。

以上、子どもたちの自由記述を数例紹介しているが、この記述のように喫煙、飲酒、薬物乱用に対する決意や態度がみられたり、学習理由が具体的に記されていたりしているものも見られている。

4.2 単元前・単元後質問紙調査の結果

単元前後の質問紙調査を行った結果、以下の2点が明らかになった。

①感情面

「保健の学習が好きですか、おもしろいと思いますか、楽しいですか」という質問項目において有意差が認められた。

その要因は、先記したとおり、教材や指導方法を工夫した事によるものと推察できる。

とりわけ、子どもたちにとってわかりやすい写真、図、DVDのような視聴覚教材を用いたことで、子どもたちの保健授業への愛好的態度が高ま

り、知識の定着を図ることができたといった点が考えられる。特に、DVDには、授業の中で学習したことをさらにまとめて説明を受けるようになっており、子どもたちが知識を確認でき、理解をさらに深める働きをしていた、と考えられる。

②期待面

「保健の学習が、今の生活に役立つと思いますか」「健康な生活ができるようになりますか」「心や体の不安や悩みを軽くしたり解決したりするのに役立つと思いますか」「国民全体の健康づくりにつながるとは思いますか」「社会にでてからの生活に役立つと思いますか」という各質問項目においても有意差が認められた。

その要因は、今まで何となく喫煙は自分の体や周りにいる人によくない、あるいは、飲みすぎは体に悪いと思っていたが、授業の中で、正常な臓器と長年にわたる喫煙や飲酒により病的に変わってしまった臓器の比較写真を見て思考をすることにより、こうした認識に至ったと推察できる。また、薬物乱用の害を授業の中で取り上げたことにより、子どもは、薬物による心と体の崩壊や、具体的にはいろいろな苦しみなどがおこることを学

表3 保健学習に関するアンケート（野津ほか，2007）の結果のまとめ（n=122） *：p<0.05

*筆者作成

番号	質問項目	事前		事後		t値	p値
		平均	SD	平均	SD		
1	あなたは、保健の学習が好きですか。	1.94	0.68	2.11	0.74	-2.862	0.005 *
2	あなたは、保健の学習をおもしろいと思いますか。	1.98	0.75	2.20	0.72	-3.330	0.001 *
3	あなたは、保健の学習が楽しいですか。	1.99	0.69	2.16	0.69	-2.645	0.009 *
	感情	5.92	1.90	6.47	2.06	-3.468	0.001 *
4	あなたは、保健の学習が大切だと思いますか。	2.89	0.37	2.89	0.39	0.000	1.000 n.s.
5	あなたは、保健の学習が健康な生活を送るために重要だと思いますか。	2.92	0.30	2.88	0.35	1.516	0.132 n.s.
6	あなたは、保健の学習が学校での勉強において必要だと思いますか。	2.54	0.67	2.66	0.61	-2.089	0.039 *
	価値	8.34	1.08	8.43	1.16	-0.815	0.416 n.s.
7	あなたは、保健の学習が自分の今の生活に役立つと思いますか。	2.67	0.62	2.75	0.55	-1.263	0.209 n.s.
8	あなたは、保健の学習で健康な生活ができるようになりますか。	2.57	0.64	2.70	0.57	-2.212	0.029 *
9	あなたは、保健の学習で心や体の不安や悩みを軽くしたり解決したりするのに役立つと思いますか。	2.25	0.74	2.36	0.75	-1.598	0.113 n.s.
10	あなたは、保健の学習が国民全体の健康づくりにつながるとは思いますか。	2.37	0.72	2.66	0.64	-4.503	0.000 *
11	あなたは、保健の学習が社会にでてからの生活に役立つと思いますか。	2.61	0.64	2.73	0.56	-1.964	0.052 n.s.
	期待	12.48	2.39	13.20	2.41	-4.040	0.000 *
	合計	26.75	4.37	28.10	4.75	-4.095	0.000 *

び、恐ろしさを実感したものと推測できる。

4.3 ワークシートの自由記述の分析結果

最後に、各授業において子どもが記したワークシート（問3に限定）の分析結果を示す。

①喫煙と健康

「喫煙と健康についてあなたは将来、どのようにしていきたいですか」

②飲酒と健康

「みんなは飲酒と健康について、大人になったらどうしたいですか」

③薬物乱用と健康

「なぜ薬物乱用をしてはいけないんだろう」

表4 ワークシート（問3）の結果のまとめ

評価		4	3	2	1	合計
喫煙	人数	61	39	21	1	122
	割合	50.0%	31.9%	17.2%	0.8%	100.0%
飲酒	人数	39	49	33	1	122
	割合	31.9%	40.1%	27.0%	0.8%	100.0%
薬物乱用	人数	78	33	11	0	122
	割合	63.9%	27.0%	9.0%	0.0%	100.0%

*筆者作成

上記の表の通り、いずれの時間も評価3か4が多く、各回の授業において子どもたちの喫煙、飲酒、薬物乱用への決意や態度は形成されたものといえる。また、学習を踏まえた理由が書かれており、子どもの中に知識の定着が見られている。

以下では、子どもたちの具体的な記述を基にその要因を考察する。

①喫煙と健康

ワークシート（問3）「喫煙と健康についてあなたは将来、どのようにしていきたいですか」の問いについて、多くの子どもたちが、「将来、たばこを吸いたくない」と回答し、子どもたちのワークシートの記述には、「たばこには自分だけでなく周りの人にも影響がでることやたくさんの有害物質があるということがわかった。」という内容の記述が数多く書かれていた。

その要因は、子どもたちにとってたばこの有害

性が明確になったと推察できる。子どもたちは、もともと喫煙が健康を害してしまうというイメージは日常生活の中から持っていたが、授業の中で、主流煙や副流煙を学び、さらに、ニコチン、タール、一酸化炭素が主流煙よりも副流煙に多く含まれ、科学的にも喫煙が人間の体にどれだけ有害であるかが、理解できたと考えられる。そのため、喫煙に対する「決意・態度・学習理由があり具体的に記述されている」という最高得点の4点が多かった。特に、たばこを吸っている人だけでなく、周りの人にも悪い影響があるということが強く印象に残ったようである。また、子どもたちは、分煙に対する意識が高く、今、社会の中で、人が多く集まる場所や公共の場所で禁煙になっている場所を知っている子どもが多かった。

②飲酒と健康

ワークシート（問3）「みんなは飲酒と健康について、大人になったらどうしたいですか」を分析した結果、多くの子どもたちが、「将来、自分に合った量を飲みたい。飲みすぎないようにしたい。周りの人に迷惑をかけないようにしたい。」と答えた半面、「飲酒は健康に悪いことがわかったので大人になっても飲みたくない。」と回答している子どもも多かったという結果になった。

その要因は、家族がお酒を飲んでいる姿を見てお酒を身近なものとしてとらえていることが推察できる。また、「両親が週に1回ぐらいしか飲んでいないのでそれを見習っていききたい。」「私の親やおじいちゃんはお酒に弱いので、私は大人になったら一気に飲まないで、たまに飲むようにして、量に気を付けたい。」などと、子どもたちなりに家族の飲酒の様子をしっかりと見ていることがわかった。一方で、授業を通して、急性アルコール中毒やアルコール依存症、アルコールの臓器や脳への影響、未成年の飲酒の身体への影響、飲酒運転の怖さなどを学習し、たばこと同じでお酒にも害があるということを学んだことがわかる。逆に、「お酒には、悪いイメージしかなかったけど、良いこともあるとわかりました。」というようにお酒の良さも理解できたようである。さらに、飲酒は

20歳を越えれば可能であると法的に認められていることを知っているため、授業で学習した理由をそのまま記述するよりも「大人になったら自分はこうしていきたい。」という大人になったら飲酒することを前提とした決意を記す子どもが多くみられた。

③薬物乱用と健康

ワークシート(問3)「なぜ薬物乱用をしてはいけないんだろう」を分析した結果、ほぼ全員の子どもたちが、「薬物は体をボロボロにしてしまい、善悪の判断ができなくなり、やめられなくなってしまうから。」とその危険性をワークシートに記述していたり、また、「まわりの人に迷惑をかけてしまう。」ということを書き記述する子ども多いという結果となった。そのため、薬物乱用について「決意・態度・学習理由があり具体的に記述されている」という最高得点の4点が多かった。

その要因は、子どもたちは、日常的にニュースや警察に関連するドキュメンタリー番組等を通じて薬物の恐ろしさを感じており、薬物乱用への意識が高いことが明らかになったと推察できる。

さらに、今回の授業を通して、薬物乱用は、お酒やたばこ違って大人になってもだめなこと、薬物は、大人も子どもも法律で禁止されていることということを学び、薬物の依存性、フラッシュバック、幻覚、幻聴、歯や目、脳、臓器への影響、精神異常、判断力や運動能力の低下、周りの人を犯罪や事件に巻きこんでしまうなど正しい知識を知ることができた。そのため、多くの子どもたちが、薬物乱用の恐ろしさを理解し、体がボロボロになるということが十分に理解できたようである。

特に、今回の授業で使用したDVDが、アニメでゲーム形式に説明が進んでいくため、授業者からは、「子どもたちの食いつきが違いました。」という報告を受けている。教科書中心の説明型の授業よりもDVDなどの映像を活用した授業の方が、子どもの理解を深めることが明らかになったと言える。

5. 本研究のまとめと今後の課題

本研究では、小学校6年生の保健領域「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」を対象として、子どもの保健授業への愛好的な態度の向上と知識の定着を企図した学習過程を検討し、その効果を検証することであった。検証にあたり、2つの質問紙調査とワークシートの自由記述分析を用いて、データの収集及び分析を行った。

分析結果から、以下のようにまとめることができる。

- ① 毎時間後の質問紙調査の結果、認識の項目が3時間とも最も高い結果であった。
- ② 単元前後の質問紙調査の結果、感情面や期待面においても大きな成果がみられた。
- ③ 毎時間後のワークシートの自由記述の分析から、子どもの決意や態度と学習面を踏まえた記述が見られており、知識の定着につながった。

以上のような結果から、本研究で試みた学習過程の工夫は、一定の成果が得られるものであったといえる。

子どもたちは日常生活の中で得てきた知識から、授業での学習を通じて科学的な知識を学ぶことにより、認識がより一層深められたと考えられる。

また、学習過程の工夫をする際の留意点として、教師の一方的な説明中心の授業ではなく、教師と子どもとの間での発問と応答を繰り返すことや、あるいは、子ども間でやりとりを繰り返すことにより、周りで聞いている子どももより一層理解を深めることができたと言える。

最後に、本研究では7つの小学校8学級を対象として授業を実証したが、子どもの質問紙調査等の結果から全ての学級で授業内容の一定水準の担保はできたと考える。

これは、本研究で作成した学習過程が、多くの教師にとって比較的授業の再現性がしやすかったことが考えられる。すなわち、すべての学校で同じ指導過程で3時間の授業を実施したことにより、授業内容の一定水準を担保できたことは学習過程、とりわけ、教師と子どもの双方向性と視聴覚教材

を授業の中核に据えた学習過程の工夫が機能を果たしたものと推察できる。

今後の課題としては、本研究で採用している学習過程の工夫が、視覚教材や対話的な学びなど複数に及んでおり、どの手立てが最も有効であるのかなど、条件を絞り込んで研究をしていくことである。

注

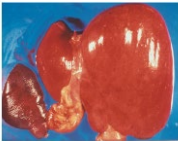
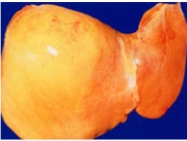

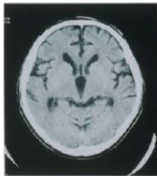

- 1) 野津ほか(2007)では、「保健学習」としているが、本研究では「保健授業」に用語を統一する。


引用文献

- 赤田信一(2011)「小学校体育科：「喫煙の防止」について授業開発の試み」『静岡大学教育実践総合センター紀要』19, pp.45-54.
- 阿河道代(2005)「小学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の実施及び評価に関する研究」『兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程教科・領域教育専攻生活・健康系コース学位論文』
- 川村香織・中野翔大・庄野あい子・赤沢学(2015)「小学生の視点に合わせた「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育」を実践するために」『社会薬学』34, pp.128-131.
- 野津有司・和唐正勝・渡邊正樹・西岡伸紀・植田誠治・高橋浩之・岩田英樹・渡部基・今関豊一・戸田芳雄(2007)「全国調査による保健学習の実態と課題ー児童生徒の学習状況と保護者の期待についてー」『学校保健研究』49, pp.280-295.
- サントリー(2017)「教えて！カワウソ博士お酒はどうしていけないの？」サントリー：大阪府
- 東京都福祉保健局(2017)「健康な未来を決めるのは、あなた」東京都福祉保健局：東京都
- 東京都福祉保健局(2020)「STOP 薬物乱用 勇者・ストップ」東京都福祉保健局：東京都
- 植田誠治(1998)「小学校保健授業の教授学習過程評価票の開発」『学校保健研究』40, pp.75-81.

<p>開 3 5 分</p>	<p>☆5, 喫煙をしない人でも健康被害を受けてしまうことを知る(受動喫煙)</p> <p>☆6, 長い間たばこを吸い続けている人の肺の写真を確認する(教科書P41)</p> <p><u>たばこのけむりは肺に入ります</u></p>  <p>たばこを吸わない人のきれいな肺 たばこのけむりでよごれた肺</p> <hr/> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこを吸うとこんなになってしまうの。 ・大人になっても吸いたくないな ・この肺は元に戻るのかな <p>☆7, 喫煙の開始年齢と病気の関係について教科書の図を確認し, 近くの友だちと気がついたことについて話し合う。</p>  <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこを吸わない人と吸う人では, 心臓病やがんによる死亡率が違う。 ・たばこを早くから吸うと心臓病やがんにかかりやすくなる。 	<p>受動喫煙)について押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの影響について記述している子どもを取り上げ, たばこをすわない人もたばこをの煙を吸うこと(受動喫煙)により健康に害を受けることがあることを伝える。 <p>6, 肺の写真を見て, 子ども達が何を感じたか問いかけるその際, たばこを長い間, 吸い続けると肺がんや心臓病などの病気にかかりやすくなることをおさえる。</p> <p>「この写真を見てどんなことを感じましたか?」</p> <p>7, 喫煙の開始年齢と病気の関係について教科書の図を確認させ, グラフから気付いたことをあげさせる。近くの友だちと話し合いをさせる。</p> <p>「教科書41ページのグラフを見て何がわかるか, 近くの人と相談してみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始年齢で見ると, 早い方が(年齢の若い方が)心臓病やがんで死亡することが多いことをおさえる。(開始年齢と病気) ・年齢が若い時からたばこを吸うと健康被害が大きいことから, 未成年者がたばこを吸うことは, 法律で禁止されていることをおさえる(未成年者の禁止) ・また, 多くの人の集まる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード Q2 ・喫煙の開始年齢と病気による死亡との関係のグラフ
----------------------------	--	---	---


	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になってから吸う人は早くから吸う人より死亡率が低い <p>☆8, DVDの視聴を通じて, 喫煙の害と日常生活での誘惑に対応する方法について学ぶ。 「DVDを見てみよう。」</p>	<p>, 公共の場所での禁煙はたばこの煙からみんなの健康を守るためにあることをあわせておさえる。 (公共の場所と喫煙)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染に配慮して, 近くの友だちと話し合うように注意する。 <p>8, DVDの視聴を通じて喫煙の害と日常生活での誘惑について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで, 喫煙を開始する可能性があることについてDVDで確認する 	
<p>整理 5分</p>	<p>☆9, 本時の授業を振り返り, 今後についてどうしたいかを確認する。</p> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこはすわない ・家族にすわせない ・たばこをすっている人の近くにいかない ・たばこをすわない社会にする ・誘惑に負けない <p>10, 本時の授業で学習したことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの学んだことを確認する。 <p>☆11, 質問紙調査を行う。</p>	<p>9, 本時の授業について振り返り今後について考えさせる</p> <p>発問 「喫煙と健康についてあなたは将来, どのようにしていきたいですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身や家族, そして周囲の人の健康のためにたばこを吸わない, ということを意識づける。 <p>10, 本時の授業で学習したことをまとめる 「今日, 学習したことをまとめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なところにポスターがあること ・たばこを吸わない人でも煙を吸うと健康に被害があることを「受動喫煙」と呼ぶこと ・長く吸い続けると健康に害があり, 特に若い人に健康被害が大きいことから未成年には禁じられていること ・周りから誘われても強い気持ちで断っていくこと <p>11, 質問紙調査を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード Q3


<p>開</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・足もとがふらついている ・眠くなっている ・顔が赤くなっている ・意識がもうろうとしている ・注意力や判断力がにぶくなっている ・呼吸や心臓が苦しくなっている ・吐いている <p>☆4, 教科書の図を見て, 飲酒を何年にもわたってすることが体に大きな影響があることを考える 「長い間飲酒を続けると体にどんな害が現れるでしょうか。」</p> <p style="text-align: center;">お酒は肝臓に影響します</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">写真：久慈浜医療センター</p> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなにかわってしまうんだね ・黄色の肝臓はひどいね。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin-right: 10px;"> たくさんのお酒を飲み続けていると、脳も縮んでしまいます。 </div>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">写真：久慈浜医療センター</p> <p>☆5, DVDを視聴を通じて, 飲酒の健康への害と誘惑に対応する方法について学ぶ。</p>	<p>「お酒を飲むとすぐに体にあらわれる影響は何だろう。近くの人と話し合ってみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人にあおられ, 一度に大量のお酒を飲むと意識がもうろうとして, 急性アルコール中毒をおこして死亡する例もあることに軽く触れる。 ・飛沫感染に配慮して, 近くの友だちと話し合うように注意する <p>4, 長期の飲酒による体への影響について伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い間過度の飲酒を続けているとやめようと思ってもやめられなくなることに触れる。 ・教科書の図を見せながら, 脳, 肝臓, 心臓, 胃, 腸などに害があらわれ, さまざまな病気になりやすいことを説明する。 <p>☆さらに, たくさんのお酒を飲み続けた脳は, 縮んでしまい, すき間が多いことに気づかせる。</p> <p>5, DVDの視聴を通じて飲酒の害と誘惑について考えさせる。 「DVDを見てみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い時期から, 飲酒を続けると, 健康への害はより大 	<ul style="list-style-type: none"> ・正常な肝臓とお酒を飲み続けた人の肝臓の比較写真 ・健康な人の脳と長期間の飲酒で縮んだ脳の写真 ・DVD「教えて！カワソ博士
-------------------------------------	---	---	--

	<p>6, 飲酒後の自動車運転が禁じられている点についてチラシを通じて理解する。 「これは警視庁の交通安全チラシです。」</p>  <p>☆7, 将来の飲酒と健康について考える。 ＜予想される児童の反応＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お酒を飲んだら運転しない。 ・酔いつぶれてまわりに迷惑をかけない。 ・飲み過ぎに気をつける ・健康のためにもお酒を飲まない日を決める。 ・飲みたくない人や飲めない人にはお酒を飲ませない。 ・お酒を飲んで大騒ぎしない。 ・家族に迷惑をかけない。 ・健康に気をつけてお酒を飲む 	<p>きくなるため、わが国では喫煙と同じように未成年の飲酒は法律で禁止されていることおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで飲酒を開始する可能性があることについても触れる。 <p>6, 飲酒後の自動車運転が法律で禁じられている点について理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転は法律で厳しく禁止されていることを伝える ・お酒に含まれるアルコールは、体内に入ると血液によって全身に運ばれ、脳をまひさせ、酒を飲んだ人の注意力や判断力を低下させることを説明する。 ・お酒に酔った状態で、自動車や自転車を運転することは、とても危険であることをおさえる。 <p>7, 将来の飲酒と健康について考えさせる 「みんなは飲酒と健康について、大人になったらどうしたいですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が大人になったらどうしたいかを考えさせたい。 	<p>お酒はどうしていけないの？」 (サントリー)</p> <p>・警視庁の交通安全チラシ</p> <p>・学習カード Q3</p>
--	---	---	--

理 5 分	<p>8, 本時の授業を振り返り, 学習したことをまとめる。 4つの内容を復習する</p> <p>☆9, 質問紙調査をする</p>	<p>8, 本時の授業を振り返り, 指導したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒をすると体と意識にすぐに変化が現れること（顔が赤くなる, 意識がもうろうとするなど） ・飲酒を何年も続けていると内臓に病気を抱えやすくなること ・法律によって未成年の飲酒は禁止されており, 興味があっても未成年のうちは飲酒をしないこと。また, 飲酒をしたら車の運転はできないこと。 ・大人になってお酒を飲むときには健康を害さないような飲み方を考えること <p>9, 質問紙に回答をさせる</p>	
-------------	---	--	--

資料3 授業指導案「薬物乱用と健康」 *筆者作成

過程 (時間)	学習内容と活動	指導上の留意点	評価・資料等
<p>導</p> <p>5分</p> <p>入</p>	<p>☆1, 薬物乱用のポスターを通じて本時への関心を高める。</p>  <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カッコいい ・ 薬物ってあぶないものなのかな ・ 強い心でいかないと負けてしまうかな ・ 薬物と戦うのかな <p>2, 本時のめあての確認をする。</p> <p>☆3, 薬物乱用の害について学習する。 「この写真は、シンナーの害でとけてぼろぼろになった歯です。」</p>	<p>1, 導入の発問を行う。</p> <p>発問1 「このポスター見てみんなどう思いますか。」</p> <p>ポスターの文字や絵を通じてどのようなことを児童が思ったかについて考えさせる。</p> <p>2, 本時のめあてについて板書をする。「薬物乱用について考えよう。」</p> <p>3, シンナーを吸い続けて歯がボロボロになってしまっている人の写真を見せる。</p> <p>「この写真の人の歯どうなっていますか?」「どんな風に感じましたか?」</p>	<p>・ 文科省ポスター</p> <p>・ 学習カード</p> <p>Q1</p> <p>・ シンナーの害でとけてぼろぼろになった歯の写真 (教科書P44)</p>

<p>展</p>	 <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何でこんなになってしまうの ・ シンナーって何かな ・ 歯がぬけ落ちているよ。 <p>☆4, 薬物乱用の定義について学習をする。</p>	<p>4, 薬物乱用の定義について説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品は病気やけがを治すために使われます。しかし「本来の目的以外で医薬品を使ったり、医薬品以外の化学物質を不正に使用したりすることを薬物乱用という。」という定義を説明する。 ・ 一回の乱用でも死に至ることを強調する。 ・ そのため、薬物乱用は大人も未成年者も法律で厳しく禁止されていることを確認する。 	
<p>開</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>分</p>	<p>☆5, 薬物乱用をしてしまう原因について話し合いをする。</p> <p>「なぜ薬物乱用をする人がいると思いますか。近くの人と話し合ってみよう。」</p> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味本位ではじめてしまう ・ 気持ちいいから ・ だまされてしまうから ・ 一度乱用するとやめられなくな 	<p>5, 薬物乱用をしてしまう原因について近くの児童同士で話し合いをさせる。</p> <p>「なぜ薬物乱用をする人がいると思いますか。近くの人と話し合ってみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛沫感染に配慮して近くの児童と話し合うように注意する 	<p>・ 学習カード Q 2</p>

<p>整 理 分</p>	<p>るから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実から逃げたいから ・だんだんきかなくなって量を増やしてしまうから <p>☆6, 話し合ったことを簡単に学級で交流する</p> <p>☆7, DVDを視聴する。 「DVDを見てみよう。」</p> <p>8, DVDの視聴後に次の問について考える。</p> <p>☆「なぜ薬物乱用をしてはいけないんだらう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気になったり自分の体を傷つけてしまうから ・家族に迷惑をかけてしまうから ・悪いことをしてしまうから ・学校に行けなくなるから ・自分の未来がなくなるから 	<p>6, 児童の話し合いの中で出されている考え方を手短かにまとめる。</p> <p>7, DVDの視聴を通じて, 児童に薬物乱用の危険を再度認識させる。</p> <p>8, DVDの視聴を通じてなぜ薬物乱用をしてはならないのかについてさらに考えさせる。あわせて以下の点についても簡単に触れていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンナーや覚醒剤, 大麻などの薬物の乱用は, 心身の健康に深刻な害を与えることを説明する。(健康被害) ・シンナーなどの薬物には, 何回もくり返して使いたくなる性質があるため, 乱用を始めるとやめることが難しくなることにふれる。 (依存症) ・薬物を乱用した結果, 周囲の人を犯罪や事件に巻きこみ, 社会的な事件を引き起こすこともあることに触れる。(犯罪とのつながり) ・自分事として真剣に考えさせ, 薬物乱用はしてはならないという意識を持たせる。 ・まとめにあたるため, できる限り多くの意見を子どものことばでださせるようにする。 ・何かこまったことがあった 	<p>DVD「STOP 薬物乱用 勇者・ストップ」 (東京都福祉保健局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード Q3
----------------------	---	--	--

	<p>9, 授業を振り返る。</p> <p>本時で習ったことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定義 ・ 薬物乱用する人の気持ち ・ 健康被害や依存症になるため薬物乱用はしてはならないという意識 <p>☆10, 質問紙に回答する。</p>	<p>ら, 決して一人で悩まない で信頼できる大人や友だち に相談することを伝える。</p> <p>9, 授業について振り返りまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬物乱用の定義の復習 ・ 薬物乱用をしてしまう人の心について ・ 健康被害や依存症になるためしてはならないという意識の確認 <p>10, 質問紙に回答させる</p>	
--	--	--	--

きつえん
喫煙と健康

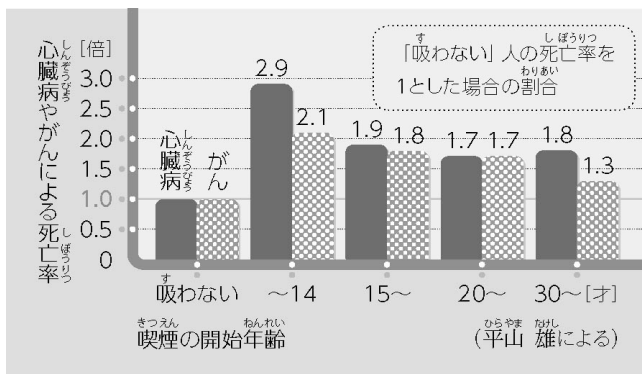
小学校	学年・組	名前

- 1 「なぜ、人が多く集まる場所、公共の場所では、たばこを吸うことが禁止されたり、制限されているのだろう。」



- 2 下のグラフを見て何がわかるか、近くの人と相談してみよう。

↓ 喫煙の開始年齢と病気による死亡との関係



- 3 「喫煙と健康についてあなたは将来、どのようにしていきたいですか。」

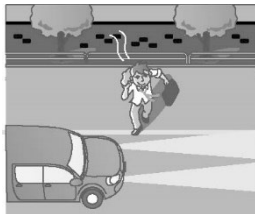
飲酒と健康

小学校	学年・組	名前

1 「みんなお酒についてどんなイメージがありますか。」

2 「お酒を飲むとすぐに体にあらわれる影響は何だろう。近くの人と話し合ってみよう。」

↓ すぐに現れる飲酒のえいきょう



3 「みんなは飲酒と健康について、大人になったらどうしたいですか。」

薬物^{らんよう}乱用と健康

小学校	学年・組	名前

1 「みんなはこのポスター見てどう思いますか。」



2 「なぜ薬物乱用をする人がいると思いますか。近くの人と話し合ってみよう」

3 「なぜ薬物乱用をしてはいけないんだろう。」

資料7 保健学習に対する質問紙調査（野津ほか2007）

小学6年生 体育科保健領域学習 単元前・単元後 質問紙調査
（ ）小学校 6年 組 名前（ ）

次の問いについてあてはまるものを○でかこんでください。このアンケートは成績とは関係ありません。あなたが思ったとおりに答えてください。

- ①あなたは、保健の学習が好きですか。 はい いいえ どちらでもない
- ②あなたは、保健の学習をおもしろいと思いますか。
はい いいえ どちらでもない
- ③あなたは、保健の学習が楽しいですか。 はい いいえ どちらでもない
- ④あなたは、保健の学習が大切だと思いますか。
はい いいえ どちらでもない
- ⑤あなたは、保健の学習が健康な生活を送るために重要だと思いますか。
はい いいえ どちらでもない
- ⑥あなたは、保健の学習が学校での勉強において必要だと思いますか。
はい いいえ どちらでもない
- ⑦あなたは、保健の学習が自分の今の生活に役立つと思いますか。
はい いいえ どちらでもない
- ⑧あなたは、保健の学習で健康な生活ができるようになると思いますか。
はい いいえ どちらでもない
- ⑨あなたは、保健の学習で心や体の不安や悩みを軽くしたり解決したりするのに役立つ
と思いますか。 はい いいえ どちらでもない
- ⑩あなたは、保健の学習が国民全体の健康づくりにつながると思いますか。
はい いいえ どちらでもない
- ⑪あなたは、保健の学習が社会にでてからの生活に役立つと思いますか。
はい いいえ どちらでもない

資料8 学習過程評価票（植田，1998）【本研究独自の3項目⑰～⑲】

小学6年生 体育科保健領域学習 授業直後 質問紙調査

() 小学校 6 年 組 名前 ()

次の問いについてあてはまるものを○でかこんでください。このアンケートは成績とは関係ありません。あなたが思ったとおりに答えてください。

- | | | | |
|--|----|-----|---------|
| ①友だちと助けあって学習できましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ②友だちの意見を聞いていっしょに考えることができましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ③友だちから教えてもらったり助けてもらったりしましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ④友だちと力をあわせてなかよく勉強することができましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑤きょうの勉強はたいせつなことがらだと思いましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑥きょうの勉強でこれからの生活に役にたつことがあると思いませんか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑦「あっわかった」とか「ああそうか」と思ったことがありましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑧新しい発見やおどろきがありましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑨むちゅうになって勉強することができましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑩きょうの勉強は楽しかったですか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑪「もっと知りたい、もっとしらべたい」と思うことがありましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑫もっとつづけて勉強したいと思いましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑬自分からすすんで勉強することができましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑭授業中、わからないことやぎもんに思うことがあるときは自分で調べたり、質問したりしましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑮自分の意見をもつことができましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑯「～を知りたい」「～をはっきりさせたい」と思いながら勉強することができましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑰今日の写真や映像に興味を持ちましたか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑱今日の写真や映像は、わかりやすかったですか。 | はい | いいえ | どちらでもない |
| ⑲今日のような保健の学習は好きですか。 | はい | いいえ | どちらでもない |